



### 商工中金景況調査（2023年8月調査・定例分）の公表について

商工中金は概ね四半期に一度、中小企業の景況感などの実態把握のため景況調査を実施しており、今般2023年8月調査のうち毎回共通の質問項目（定例分）の結果について公表しました。

#### <2023年8月の景況感>

#### 景況判断指数は2020年の本調査開始以来初の2回連続「好転」超

コロナ5類移行後初の夏休みシーズンを迎えた飲食・宿泊が全体をけん引したほか、完成車メーカーの生産が回復傾向にある輸送用機器の景況感もプラスに寄与し、景況判断指数は50.6と前回に続き「好転」超が継続しました。

ただし、個別にみると悪化が続く業種もあり、景況感は業界によってまだら模様といった状況です。

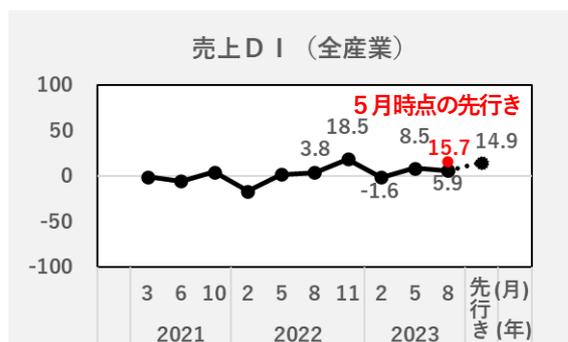


#### <2023年8月の業況判断>

#### 【売上】非製造業を中心に「増加」超が継続

売上は、非製造業を中心に「増加」超が継続しました。

業種別にみると、飲食・宿泊や食料品が大幅「増加」超となった一方、電気機器や鉄・非鉄では販売価格は「上昇」超にもかかわらず売上は「悪化」超となるなど、こちらも業界によって大きな違いがみられました。



- ・本編資料は[こちら](#)をご覧ください。
- ・トピックス調査分(中小企業のウェルビーイングに関する調査<仮>)は2023年10月下旬頃公表予定です。